

## 奈良県道路整備委員会（第7回）議事録

日時：令和5年9月4日（月）

14時00分～16時00分

場所：奈良県庁 第一会議室（大）

## ■委員からの主な意見

## 【清水（陽）委員】

- ・観光の視点での歩道整備、また、歩いて過ごすまちづくりの視点も盛り込んでどうか。他都市部では、ほこみち制度の導入により、観光地までの動線確保などの取組を行っているところがある。奈良もそういった視点を持ってほしい。
- ・鉄道やバスなど、他の移動手段との連携についても考えてほしい。
- ・奈良県内だけでなく、他府県の整備動向も踏まえ、広域的な視点も持ってほしい。
- ・まだ先の話ではあるが、県南部の安全・安心を考えた際に、移動手段を道路だけに頼るのではなく、遠い将来を見据え、空飛ぶクルマのような移動手段についても良いと思う。

## 【西堀委員】

- ・色々な交通体系の中に道路を位置づけるという視点で検討したほうが良い。リニア新駅設置の話やパーク＆ライドなども考えると、交通結節点の整備といった話も盛り込んでいける。また、渋滞という観点では、どこまで道路で分担するかといった考えがあっても良いかもしれない。
- ・「道路整備の進め方」に「選択と集中」とあるが、今後、事業を選択していくにあたって、奈良県において何を重要視するのか考えた上で、選択が出来ると良いと思う。
- ・DXについては、自動運転の話もあるが、「優先順位」や「選択と集中」に活かすことが出来ると思う。例えば、データ分析で渋滞箇所を捉えることや、整備効果の検証もできるように、建設段階だけでなく、マネジメント段階のDXについても考えると良いと思う。

## 【清水（裕）委員】

- ・環境の視点では、建設過程から運用過程において「カーボンニュートラル」の視点が重要なため、計画に盛り込んで頂きたい。
- ・DXについては、道路の維持修繕だけでなく、国土交通省の「xROAD（クロスロード）」といったデータプラットフォームなど、国の施策を活用し、運用につなげ、システムと整備の両方で活用できるようなDXのあり方を考えてほしい。
- ・「儲ける道」という視点があっても良いかもしれない。例えば、オーバーツーリズムの話で、他の国では課税する事例がある。また、官民連携などにより、民間の力を活か

すことができるフィールドを提供するというのも重要かと思う。

【伊藤委員】

- ・「道路のあり方」「道路整備の進め方」とあるが、「利用のさせ方」といった視点が非常に大事かと思う。「利用のさせ方」を整理することで、例えば、混雑緩和のためにどうい道路の使い方ができるのか見えてくるかと思う。
- ・現在、直轄権限代行で国道 168 号、169 号などアンカールートの整備を進めている。災害への対応というのは重要であるため、奈良県としてアンカールートの整備の重要性を打ち出していただく必要がある。
- ・道路施設の老朽化が課題になっている。例えば、阪神高速道路のように長期間通行止めしてでも修繕をしなければならないような時代になっている。国道と同様に、県道においても、どの道路をあらかじめ修繕しておく必要があるかという視点が非常に重要かと思う。

【東田委員】

- ・企業誘致にも道路が必要で、企業がどのような道路を求めるか。また、物流の 2024 年問題もある中で、運転手がどのような道路を必要としているのか。利用者目線の意見を聞いてみるのも良い。
- ・観光面では、インバウンドや公共交通機関との連携を意識した道路整備が必要だと思う。また、区画線の補修について、大きな道路では進めてほしい。
- ・大和郡山市は「歩いて健康に暮らすことができるまちづくり」を目指しており、予算の問題もあるが、歩く人目線でバリアフリー整備が大事かと思う。

【松井委員】

- ・道路交通法に基づき、道路の安全と円滑な交通を図る取組を進めているが、奈良県では、いまだに年間数十名の方がお亡くなりになっている。安全という面で、交通事故の起こりにくい道路整備に取り組んでほしい。

【森島委員】

- ・道路整備をして何を指すのかという視点がほしい。名古屋・京都・大阪の名神高速道路を軸とする道路はどんどん便利になっている。一方、名古屋・奈良・大阪は名阪国道が唯一という形で機能している。経済的な将来の発展を見据えて、名阪国道に焦点を当ててほしい。
- ・オーバーツーリズムについては、奈良県では、ほとんど旧奈良市内の問題となっている。この旧奈良市内の道路を将来的にどうするかという視点が重要ではないかと思う。

【本日の議論のまとめ（委員長まとめ）】

- ・「歩く（歩道整備）」「鉄道との連携（マルチモーダルの視点）」「DX」「環境（カーボンニュートラルの視点）」「災害対応」「維持・修繕」「バリアフリーの視点」「観光活性化」

「企業誘致」「物流」「交通安全」など色々な意見をいただいた。全て大事な項目だが、県としてどこに力を入れるのかを決めることも大事（選択と集中）。

- 県民に伝わる言葉で計画を書いてほしい（例：「災害に対する強靱化」→「命を支える」）
- 道路は人だけでなく、モノも運ぶ。どの時代でもモノは動くので、物流を考えて道路整備することも大事。京奈和自動車道などが開通していく中で、物流施設が増えていくが、住民にとっての迷惑施設になってはならない。埼玉の事例のように、うまく土地利用計画を立てて、物流施設を集約するということも考えていく必要がある。
- 今回、非常に大事な項目が列挙されたが、そこから何が重要か、奈良県の目標とも照らし合わせながら絞っていくという作業を検討して頂きたい。